一般質問

12月定例会

早樋 徹雄 議員

Q 水道施設の管理体制はどうか

この冬の低温により、水道管の凍結や破裂による漏水、また一部での断水が発生した。

告知放送などにより、断水阻止に向けての努力もあったが、原因の特定に時間を要し、水道施設の管理に不安を感じた。

冬季の漏水調査は、積雪などにより困難が予想されるが、迅速に対応できる管理体制や、漏水調査を容易に実施できる施設改良が必要と思うが、町長の考えを問う。

杉戸浄水場

A しっかり総括し体制を構築

町長 山碕 英樹

断水しないよう懸命に努力したが、反省すべき点と課題が残った。

漏水箇所の多くは一人暮らしの家庭で、長期間不在中の水道管破損事故であった。留守にされるときは、必ずバルブを閉じてもらいたい。

積雪によりメーターの位置が特定できなかったことや、屋根からの雪ずり等の処理に時間を要した。これには、積雪前の目印設置や、バルブ位置の変更などが必要であり、凍結・破損に対する注意の喚起が重要である。

自治会、地域住民、業者、行政が密に連携し、協力することが大切である。今回の事態を総括し、体制の構築、流量計の設置など検討したい。

また、中央監視装置の早期完成と、事故を未然に防ぐ管理体制を構築する。

Q 国民健康保険の都道府県化

都道府県が市町村とともに国保運営を担い、国保制度の安定化を図って行くこととなった。小規模自治体には大きなメリットであるが、加入者は保険料に関心がある。

平成30年度の保険料はいくらの予定か。また平成31年以降はどうなるのか。加入者への直接的な変更と影響もあわせて問う。

A 県と共に健全な運営に努める

町長 山碕 英樹

仮算定だが、一人当たりの保険料は11万7456円となり、前年より増える。世帯数や被保険者数の減少が大きく影響したもので、加入者の皆さんの理解をお願いしたい。

平成31年以降は、一概に推定は出来ない。

町による保険料の徴収率や特定検診の受診率によって、交付金が変動するので、特定検診を受けていただきたい。加入者に直接的にかかわる大きな変更はない。

国保運営は制度改正の影響を注視しつつ、県と共に健全な運営に努める。

一般質問

12月定例会

高橋 英次 議員

Q 水道管の状況は

簡易水道開始時期は、早い順に、角井・赤来・頓原地区が昭和35年、八神地区が昭和38年、志津見地区が平成3年、谷地区が平成6年である。

総延長は487㎞に達し、敷設後58年を経過する部分もある。この状況の中で、各地区の水道管の劣化は大丈夫か。

次に、赤名地区では石綿管が残っていると聞くが、劣化による耐震強度が心配される。敷設状況と対策は。

この地区の水道管は、畑などの軟弱地盤に敷設されている部分もあるが、現状の認識と今後の対応を問う。

水道メーター

A 計画を基に管理・運営

町長 山碕 英樹

公共施設は、飯南町公共施設等総合管理計画を基に管理運営する。

水道管について、この計画の中で、平成27年3月現在135㎞を劣化対象としている。耐用年数の40年を経過する部分が33％の44㎞、10年後は約91㎞となり、半分以上が老朽化する。

水道施設は、将来の人口減による使用料収入の減少、施設の老朽化による維持費の増大、多額の更新費用等の課題はあるが、町民生活に欠かせないインフラ施設として機能を保っていかなくてはならない。

昭和30年代に敷設された石綿管は、赤名連担地を中心に存在し、強度に課題がある。

畑など、公道に敷設されていない水道管があるのは承知している。維持管理上望ましいものではなく、総合管理計画にのっとり計画的に進めていく。

Q ガードレールをガードケーブルに

道路除雪を行うに当たって、幅員の狭い道路では、除雪した雪がガードレールに阻まれ排雪が困難になるとともに、道路の狭小を招いている。

雪国では、対策として、ワイヤーを使用したガードレールを敷設し、排雪や道路の幅員確保に役立っている。地形や場所に応じて導入する考えはないか。

ガードケーブル

A 費用対効果を勘案し検討

町長 山碕 英樹

今回の大雪に除雪作業を担っていただいた皆様方には、心からお礼を申し上げる。

ガードケーブルは強度に優れ、排雪に有効な手段ではあるが、設置費用がガードレールの約2倍かかる。

ガードレールの修繕や新規の道路改良工事の際に、設置条件や費用対効果を勘案し検討する。